



ザトウクジラ、原生林、オーロラなど
大自然の写真を心温まる音楽に合わせ
てご覧いただきます。

独りでの無人島キャンプや氷河上での
かまくら生活といった撮影の様子などを
解説を交えてお楽しみいただきます。
さらに野生動物の貴重な生態をとらえ
たビデオを紹介するなど、臨場感たっ
ぷりにお伝えします。



写真家 松本紀生スライドショー

オーロラの大地から

平成 29 年 9 月 23 日 (土)



開場 / 12:30 開演 / 13:00

場所 / 岩手県公会堂 大ホール

入場料 / 1,000 円

(中学生以下 無料)

《チケットの取り扱い お問い合わせ先》

キッツキネットワーク岩手

事務局 電話 080-2835-1075

FAX 019-647-8060

岩手県公会堂窓口 電話 019-623-4681

チケットは事前の取り扱いのみとなりますので、お早めにお求めください。

主催 特定非営利活動法人キッツキネットワーク岩手

共催 岩手県公会堂指定管理者希望橋グループ

後援

岩手県教育委員会/盛岡市教育委員会/滝沢市教育委員会/八幡平市教育委員会/紫波町教育委員会/

矢巾町教育委員会/雫石町教育委員会/岩手町教育委員会/葛巻町教育委員会/岩手県PTA連合会/

岩手県高等学校PTA連合会/岩手西北医師会/新老人の会岩手支部/岩手日報社/盛岡タイムズ社/岩手日日新聞社

写真家 松本紀生氏の紹介



1972年愛媛県松山市生まれ。写真家。立命館大学在学中に写真家になることを志す。同校中退後、アラスカ大学へ編入、のち卒業。キャンプや撮影の技術は渡米後に独学で習得し、現在では年の約半分をアラスカで過ごす。夏季は北極圏や無人島、冬季は氷河の上に自作するかまくらにひとりで生活をしながら、動物や風景、オーロラの撮影に専念する。2005年には北米大陸最高峰デナリ(6,190m)にも登頂。

その活動は朝日新聞「ひと」欄や TBS「情熱大陸」、中学校道徳の副読本(注)、米国等で紹介される。

日本国内の雑誌、新聞、広告に加え、海外の媒体にも作品を発表。

日本滞在中はスライドショー「アラスカフォトライブ」で全国の学校、企業、団体を講演してまわる。

(注)副読本『心つないで』(教育出版)

書籍紹介 (講演会当日に、書籍販売、サイン会を開催します)



『原野行』 著者にとって、初の写真集

アラスカの美しい生命や風景を求め、原野に行く。旅はまだこれからだ。20年の間に撮影された写真の中から厳選した作品と、エッセイ全4編を収めた写真集。瑞々しい感性が極北の原野で出会った、世界一美しい光景を一望する写真集。

出版社:クレヴィス



『オーロラの向こうに』 マッキンリー山麓でのオーロラ撮影を描いた写真絵本

見渡す限りの大きな夜空に、きらきらと輝く無数の星たち。それを背景に色とりどりの光のカーテンが舞い踊る。写真家・松本紀生が、「オーロラを見たい」という夢をかなえるまでの軌跡を綴る。

出版社:教育出版

さだまさしさん、佐田玲子(妹、シンガーソングライター)さんの推薦文あり



『アラスカ無人島だより』 無人島での撮影生活を題材にした写真絵本

ひとりきりの夜。でも、森と呼吸しています。クジラが潮を吹く音が聞こえます…。夏のアラスカの無人島でキャンプした写真家・松本紀生が、アラスカのあふれる生命と、そこで出会った人々とのふれあいを写真で綴る。

出版社:教育出版

椎名誠(作家、エッセイスト、写真家、映画監督)さんの推薦文あり

「チケットの当日引き換え」を希望される場合には、次の様式にて、お早めにキッツキネットワーク岩手事務局までお申し込みください。FAXで送信願います。

予約(取り置き)チケットは、講演会当日、入場料を添えて、岩手県公会堂大ホール会場受付でお引き換えください。

「9月23日 写真家 松本紀生氏スライドショー」の チケット予約(取り置き)をお願いします。		希望枚数 (予約枚数)	枚
氏名		電話	
住所	〒		
連絡欄			